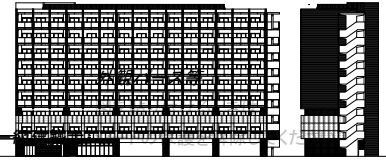


# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)泉佐野市・笠松1丁目計画	階数	地上9F
建設地	大阪府泉佐野市笠松1丁目3916-1	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	117 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年4月4日
敷地面積	1,540 m <sup>2</sup>	作成者	松井建設 株式会社 大阪支店
建築面積	543 m <sup>2</sup>	確認日	2016年4月4日
延床面積	3,630 m <sup>2</sup>	確認者	松井建設 株式会社 大阪支店 一級建築士事務所 辻和宏



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	184 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )
②建築物の取組み	46 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )
③上記+②以外の	92 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )
④上記+	138 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

音環境	3.6
温熱環境	3.0
光・視環境	3.8
空気質環境	4.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

機能性	3.6
耐用性	2.9
対応性	2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.3

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性・	3.0

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.4
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

水資源	3.0
非再生材料の	2.7
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

地球温暖化	3.8
地域環境	2.9
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし		その他 特になし
Q1 室内環境 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用	Q2 サービス性能 光ファイバー引き込み	Q3 室外環境(敷地内) できる限りの緑化
LR1 エネルギー LED照明設備の設置	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上材が容易に分別可 再利用できるユニット部材の使用	LR3 敷地外環境 LCCO <sub>2</sub> 排出率=77% 広告物照明はなし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0012

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)泉佐野市・笠松1丁目計画					
	建設地	大阪府泉佐野市笠松1丁目3916-1,3917-1					
	用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
<b>エネルギー消費量の報告</b>						<b>対象外</b>	

【評価項目】			
省エネルギー対策		① CO2削減	
省エネ対策		② 省エネ対策	
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊 3.0
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.4
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.9	
<b>その他</b>			
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項			